

平成 27 年 12 月 4 日

養父市議会議長 勝 地 恒 久 様

総務文教常任委員会

委員長 田 中 久 一

総務文教常任委員会調査報告書

閉会中において、当委員会の所管事務につき調査したことを次のとおり報告する。

記

- 1 調査年月日 平成 27 年 11 月 18 日（水）、19 日（木）
- 2 調査事項 (1) 小中一貫教育について
(福知山市立夜久野学園及び箕面市立彩都の丘学園)
(2) 介護保険予防推進事業について
(三重県いなべ市)

3 調査内容

(1) 小中一貫教育について

10 月に議決された養父市創生総合戦略の基本目標で、平成 31 年度に養父市独自の小中一貫教育体制を全校「4 中学・9 小学校」で構築することになっていることから、既に小中一貫教育を実施している夜久野学園及び彩都の丘学園を視察した。

別紙添付（委員派遣報告書）

<まとめ>

視察した 2 つの小中一貫教育について、地域環境の類似した夜久野学園は養父市のモデルとなる要素が期待できる。学園内に老人クラブの事務局が設置され、児童生徒との接点であるとともに、クラブ活動支援や 9 年間を通したふるさと教育など、地域の教育に対する協力があり、教師の地域行事への参加がある。学校と地域の連携には、この部分が希薄であってはならない。

養父市は、市内 4 中学校区で小中一貫教育を進めるため、タイプの異なる 2 校区をモデルとして取り組んでいる。関宮中学校区では小中隣接の利

点を生かし「施設併設型」としているが、中学校統合時からPTAなど地域を挙げての取組が行われてきた。

一方の養父中学校区は、各小学校と離れているため関宮中学校区とは異なり「施設分離型」が想定されるが、いずれも計画については、保護者や地域住民に十分な理解を求める必要があると指摘する。

(2) 介護保険予防推進事業について

国が指定している全国13のモデル地区の一つである、いなべ市地域包括支援センターを視察した。

別紙添付（委員派遣報告書）

<まとめ>

いなべ市では、一般社団法人「元気クラブいなべ」を設立し、スポーツに親しみ運動することを習慣化させて健康増進を図った結果、この運動に参加した市民の年間国保医療費は、不参加市民より一人当たり78,000円少ない結果をもたらした（平成20年度）。この実績から、厚生労働省の市町村介護予防計画推進事業（予防モデル事業）に応募し取組を進めた。

その取組は、

- ①要支援者に対し、一定期間の通所と訪問サービスにより元の生活に戻す取組を実施。
- ②要支援者が徒歩圏内で運動や食事する場所を用意し、状態維持を図る試み。

その結果、元気な高齢者を事業進捗の担い手に育て、地域での活躍機会を増やすことで長期的な介護予防につなげる成果をもたらしている。